「令和4年度災害レジリエンス向上のための社会的期待発見研究」成果発表会 プログラム

(1)日 時

令和5年3月27日(月) 13:00~17:00(予定)

(2)場所

防災科学技術研究所 東京会議室 (ハイブリット開催) (マークライト虎ノ門 6 階 602 室:東京都港区西新橋 2 丁目 3 番 1 号)

会 場: 社会的期待発見研究推進委員会委員(原則)

令和4年度採択課題代表者(原則)

令和4年度採択課題共同研究者

オンライン:令和4年度採択課題共同研究者

その他一般参加者

zoom ミーティング URL:

 $\label{eq:https://zoom.us/j/94289588351?pwd=dUNzei9tMGpZM2NjcWdaMFgzV1VSdz09 \\ \mbox{$^{\prime\prime}$} \mbox{$^{\prime\prime}$} \mbox{$^{\prime\prime}$} - \mbox{$^{\prime\prime}$} : 230327$

(3)次第

第1部 13:00~15:30(150分) 令和4年度採択課題の成果発表及び質疑

第2部 15:40~16:50 (70分)

パネルディスカッション「社会的期待発見研究とはし

- ① 話題提供:防災科研が考える「社会的期待」「社会的期待発見研究」
- ② パネルディスカッション:委員、課題代表者、聴衆によるディスカッション

その他(事務局より)、閉会 $16:50\sim17:00(10分)$ 令和5年度災害レジリエンス向上のための社会的期待発見研究の公募予定について

※終了時間が多少前後する可能性があります。

(4) タイムスケジュール

開始時刻	終了時刻	時間	内容
第1部 令和4年度採択課題の成果発表及び質疑(発表10分、質疑5分)			
13:00	13:05	5分	開会の挨拶(林 春男 防災科学技術研究所理事長)
13:05	13:20	15分	課題「防災力向上研究プロジェクト〜心配性バイアスを活用した啓発 /自治体災害対応DXの推進〜」 (中出雅大 防災科研マルチハザードリスク評価研究部門)
13:20	13:35	15分	課題「20年後に求められる都市レジリエンスと防災技術革新の特定: 中高層建築物に着目した自然科学と社会科学の歴史的探究」 (大津山堅介 東京大学先端科学技術研究センター)
13:35	13:50	15 分	課題「社会インフラ災害レジリエンス向上のための災害ハザード・リスク情報のインフラ点検補修情報への展開」 (園田潤 仙台高等専門学校総合工学科)
13:50	14:05	15 分	課題「災害レジリエンス向上のための分譲マンションの課題発見と準公共財としての活用方法の検討」 (王尾和寿 株式会社中央地学)
14:05	14:20	15分	課題「大規模自然災害における多様な避難形態と健康影響に関する潜在的リスク分析」 (坪井基浩 東北大学災害科学国際研究所)
14:20	14:30	10分	休憩
14:30	14:45	15分	課題「事業中断リスクの定量評価を主軸とした「中小企業向けウェブ 簡便評価ツール(プロトタイプ版)」の開発」 (千葉洋平 防災科研災害過程研究部門)
14:45	15:00	15分	課題「台風第 19 号災害における「状況認識の統一」過程の解明一長野県の災害対応を事例として一」 (佐藤史弥 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
15:00	15:15	15分	課題「住宅地選択行動を適正化させるスマートハザードAPP活用に 関する社会的期待発見研究」 (多田豊 阿南工業高等専門学校創造技術工学科)
15:15	15:30	15分	課題「マッピングによる災害レジリエンス構築:社会的脆弱性の高い 人々へ着目した研究」 (サッパシー アナワット 東北大学災害科学国際研究所)
15:30	15:40	10分	休憩
第2部 パネルディスカッション「社会的期待発見研究とは」			
15:40	15:45	5分	話題提供(防災科研が考える「社会的期待」「社会的期待発見研究」) (永松 伸吾 防災科学技術研究所災害過程研究部門長・社会的期待発 見研究推進委員会委員長)
15:45	16:50	65 分	パネルディスカッション(委員、課題代表者、聴衆)
その他(事務局より)、閉会			
16:50	16:55	5分	今後の予定(水元 伸一 イノベーション共創本部共創推進室長)
16:55	17:00	5分	閉会の挨拶(永松 伸吾 防災科学技術研究所災害過程研究部門長・社 会的期待発見研究推進委員会委員長)

(5) 第1部 令和4年度採択課題の成果発表及び質疑

各課題の代表者から、進捗状況等について発表した後、社会的期待発見研究推進委員会の委員等から質疑を行います。

- 1課題あたりの発表時間は10分、質疑応答時間は5分
- 発表形式は口頭発表
- 発表内容は次の5点
 - 1. 研究内容
 - 2. 取組状況
 - 3. 共同研究者の連携・役割分担
 - 4. どんな「社会的期待」を発見したか/しようとしているか
 - 5. 今後の課題や展望
- (6) 第2部 パネルディスカッション「社会的期待発見研究とは」

はじめに話題提供を行い、その後パネルディスカッションを実施します。

1. 話題提供

テーマ:防災科学技術研究所が考える「社会的期待」「社会的期待発見研究」

話題提供者:永松 伸吾 防災科学技術研究所災害過程研究部門長/社会的期待発見研

究推進委員会委員長

2. パネルディスカッション

登 壇 者: 社会的期待発見研究推進委員会委員(進行は永松委員長)

主な流れ:・各委員からの講評

- ・共同研究者からのコメント
- ・各委員からのコメント
- ・理事長からのコメント

【問い合わせ】

防災科学技術研究所イノベーション共創本部共創推進室 社会的期待発見研究推進事務局

E-mail: kitaihakken@bosai.go.jp